

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 低所得者に対する支援と生活保護制度		授業の種類 (講義)・演習・実習		授業担当者 花内 菜由	
回数 15回	時間数 (単位数) 30時間	配当学年・時期 1年 前期		(必修) ・ 選択	
【授業の目的・ねらい】 公的扶助の理念や制度等の発展の経緯と、国の生活保護制度と専門職の役割等を学び、昨今の社会全体と政策の動向における、公的扶助領域のソーシャルワークによる支援のあり方を理解する。					
【授業全体の内容の概要】 公的扶助の概念と範囲や意義と役割、貧困や低所得者の問題、貧困・低所得者対策の歴史的展開、貧困・低所得者対策としての生活保護制度やさまざまな低所得者対策の制度的仕組み、生活保護の運営実施体制、生活保護における自立支援プログラムのあり方について学習する。					
【授業修了時の達成課題 (到達目標)】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 公的扶助の理念や関連の歴史について説明できる。 2. 貧困調査や指標、社会的排除等の貧困の概念について説明できる。 3. 国の生活保護制度の運営、生活困窮者・低所得者対策について説明できる。 4. 対象者の心身の健康、家族等を含む当事者の理解について説明できる。 					
【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 公的扶助の概念 2. 貧困・低所得者問題と社会的排除 3. 公的扶助制度の歴史 4. 生活保護制度の仕組み (生活保護法の構成、生活保護法の目的と原理・原則、保護の種類と内容および方法) 5. 生活保護制度の仕組み (保護施設、被保護者の権利および義務、不正・不適正受給対策) 6. 生活保護制度の仕組み (不服申立てと訴訟、生活保護の財源・予算) 7. 最低生活保障水準と生活保護基準 (最低生活保障水準の考え方、生活保護基準の考え方) 8. 最低生活保障水準と生活保護基準 (生活保護基準額の実際、最低生活保障水準の実際) 9. 生活保護の動向 10. 低所得者対策の概要 (生活困窮者自立支援法、生活福祉資金貸付制度) 11. 低所得者対策の概要 (社会手当制度、ホームレス対策、その他の低所得者対策) 12. 生活保護の運営実施体制と関係機関・団体 13. 貧困・低所得者に対する相談援助活動 14. 生活保護における自立支援 (自立とは何か、自立支援プログラムの位置づけ) 15. 生活保護における自立支援 (自立支援プログラムの策定および実施) 前期末試験					
【使用テキスト・参考文献】 最新・社会福祉士養成講座 貧困に対する支援 中央法規 社会福祉小六法2021 [令和3年版] ミネルヴァ書房			【単位認定の方法及び基準】 授業態度、試験、出席状況から総合的に評価し、単位認定を行う。下記の記載内容も留意すること。 ※1 試験の評価基準：6割以上の成績にて合格。 ※2 出席の評価基準：欠席が多い場合には、前期試験の受験資格が得られない。また、単位認定も行わない。		